

平成28年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成28年4月～平成29年3月

1. 学校概要

学校名 金沢市立杜の里小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒920-1165
石川県金沢市若松3丁目282番地

E-mail morinosato-e@kanazawa-city.ed.jp

Website http://cms.kanazawa-city.ed.jp/morinosato-e/

児童生徒数 男子 272名 女子 219名 合計 491名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

[はじめに]

本校は、金沢市の南部に位置し、平成19年4月に開校した。

学校の北側には卯辰山、西側には浅野川が流れ、四季を通じて子どもたちが自然に親しめる環境にある。また、金沢大学が近くにあり、文教地区としても栄えてきた。さらに、山側環状道路の整備に伴い、多くの商業施設が存在する。

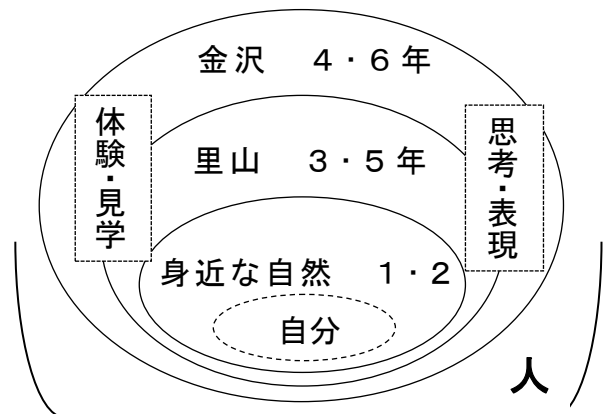
平成24年度、ユネスコスクールの認定を受け、身近な自然、里山、金沢を舞台として持続可能な開発のための教育の実践に取り組んでいる。

自ら 関わり つながる 杜の里 ～感じて、考えて、伝え合おう～

1 ユネスコスクールとしての取組

本校では、「関わり」「つながり」を大切にできる子どもを育てるという基本的な考え方(杜の里ESD)のもと、身近な自然、里山、金沢・・・と関わる中で、自分を含む、さまざまなものとのつながりを感じて、考えて、伝えていく実践に取り組んでいる。

具体的には、生活科や総合的な学習の時間を中心に、1・2年生は身近な自然、3・5年生は里山、4・6年生は金沢を舞台に地域や他校の人と関わりながらさまざまな体験や見学、調べ活動を行っている。また、学習の成果をもりもり学習発表会で全校で交流をしたり、保護者、地域の方に発信している。



3年 ホタルの住む町杜の里 金沢の和

ホタルの種類や生態等について、ホタル博士から話を聞いたり図鑑で調べたりすることで、ホタルの住む環境や飼育に興味を持つことができた。また、ホタル博士からホタルの飼育方法について学び、自分たちでもホタルの幼虫のお世話をすることを通して、育てることの大切さや難しさを学んだ。さらに、育てたホタルとカワニナをNPOの方と校区に放流することで、より自然環境の大切に気づくことができた。

金沢の和菓子の学習では、和菓子職人さんの話から、季節や行事に込められた思いや願いを知ることができ、お茶文化と深いつながりがあることを学んだ。



4年 金沢の偉人 金沢の伝統

金沢の偉人について「ふるさと偉人館」を見学したり、「偉人物語」を読んで調べた。偉人の業績や生き方から「夢をあきらめない強さを学んだ。」「困難にあってもやり遂げる大切さを学んだ。」等自分の日々の行動や考え方に示唆を得ていた。金沢の伝統工芸では、「金箔張り体験」や「加賀八幡起き上がり絵付け体験」から、職人さんの技の見事さ、作品の美しさ、作品にこめられた人々の思いに気づくことができた。成果を壁新聞として「ふるさと偉人館」に展示もした。



5年 里山保全プロジェクト

里山の生き物、水田、環境、文化について、調べ学習や資料館の見学を通じて学ぶことが出来た。里山は生き物を育む環境であり、生き物が生きることのできる環境を守るためには、里山を保全していかなければならないと学んだ。

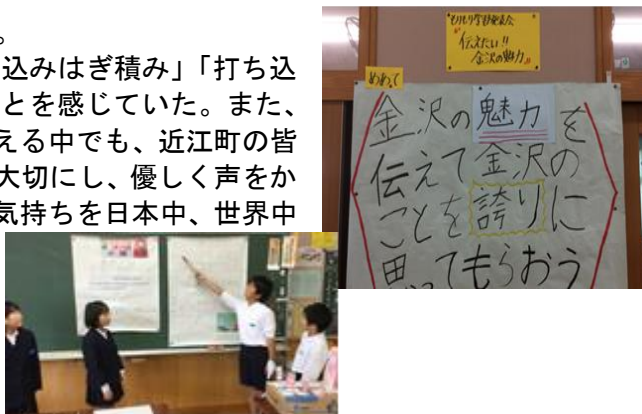
また、近年の動物と人間との間のトラブルは、人間の生活の仕方が変化したために、里山が荒廃したことに原因があるという認識を持つことが出来た。さらに、田植えや稲刈りの体験から、稲作に由来した文化が身の回りに多くあり、自分たちの生活に関係があることを知って、生活と稲作のつながりに興味関心を持っていた。



6年 金沢の魅力

金沢の魅力を実際にその場に行って調べ学習をした。

例えば、金沢城では、高く積まれた石垣には「切り込みはぎ積み」「打ち込みはぎ積み」等様々な伝統技術と知恵の塊だと言うことを感じていた。また、金沢市の台所と呼ばれる近江町市場では、観光客が増える中でも、近江町の皆さんが昔から近江町を利用していた市民のお客さんを大切に、優しく声をかけている様子を見た。子どもたちはこの技術と温かい気持ちを日本中、世界中に広めたいと考えていた。2月にはその成果を「金沢ユネスコスクール子どもサミット」で学校の代表として紹介することもできた。



2 成果と課題

身近な自然・里山・金沢を舞台に、自ら関わりつながることを本校のテーマとして取り組んできた。取り組みの成果を、「もりもり学習発表会」で、子ども同士での交流と共に保護者や地域の人に発信することができた。

今年度は、取り組んだことだけを発表するのではなく、どんなことを学んだか、子どもたちの考えにどんな変容があったかを発表することができた。「わたしたちは自然の恵みを受け取って生きている。身近な自然を守るためにどんなことができるかな。」と自分たちにできることを考えたり、「金箔のように金沢には美しい物がいろいろある。」「水引には人の心を結ぶという意味がある。」と金沢の伝統工芸の美しさ、巧みさ、込められた人の思いに気づくことができた。このように、その子なりの学びを一人一人が持っていた。

一人一人が学びを持てるように、今年度、各学年の先生方が取った手立て、例えば「もりもり TRY アンクルで考えよう」「学びを自分の生活や行動にどう生かせるか考えよう」等を来年度にもつなげていくことができる。

また、小中一貫教育の一環として、兼六中学校校区でのふるさと学習に関する掲示物を交流する取り組みも続けている。

来年度は、各学年の総合を中心としたユネスコスクールの取り組みをファイルに綴っていき、資料や人材、見学先等がすぐ調べられるようにしたり、効果的な指導の仕方を積み重ねていくようにしたい。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）